

2023 年度

飯綱町民講座

入場無料

※託児あり(事前申込制)

「今、この国で起こっていること、 いま地域住民がすべきこと」



講師

青木 理

ジャーナリスト
ノンフィクション作家

あおき おさむ

1966 年生まれ。長野県小諸市出身。慶應義塾大学卒業。1990 年～2006 年まで共同通信にてソウル特派員や外信部記者、警視庁公安担当記者などを務める。2006 年にフリーランスに転身。現在は、新聞や雑誌のコラム連載のほか、週刊誌や月刊誌などを中心にノンフィクション作品を発表している。また、テレビコメンテーターやラジオパーソナリティとしても活躍している。

●著書

『日本の公安警察』(講談社現代新書)
『北朝鮮に潜入せよ』(講談社現代新書)
『暗黒のスクランダル国家』(河出書房新書) など

対談者

畑谷 史代

作家
信濃毎日新聞社論説委員



はたや ふみよ

1968 年生まれ。長野県長野市出身。早稲田大学卒業。1993 年に信濃毎日新聞社へ入社し、報道部、文化部などを経て、現在は信濃毎日新聞社論説委員を務める。主な担当分野は社会保障、ジェンダー。連載「介護のあした」(1999 年)取材班で新聞協会賞、ハンセン病問題の連載「柵の垣根」(2004 年～2005 年)で新聞労連ジャーナリスト大賞特別賞などを受賞。

●著書

『差別とハンセン病—「柵の垣根」は今も』(平凡社新書)
『シベリア抑留とは何だったのか—詩人・石原吉郎のちのり』(岩波ジュニア新書)

日時

2023 年 8 月 5 日 (土)

■開場 13:30

■開演 14:00～15:30

場所


飯綱町民会館ホール

■主催 飯綱町 飯綱町議会

■後援 飯綱町教育委員会 飯綱町区長組長会 飯綱町老人クラブ連合会 飯綱町商工会 飯綱町文化協会
飯綱町観光協会 飯綱町ボランティア連絡会 飯綱町婦人会 飯綱町女性会議

■問い合わせ 飯綱町企画課 TEL 026-253-2512 / 飯綱町議会 TEL 026-253-4761

リアルタイム字幕あり：聴覚に障がいをお持ちの方も安心してご参加いただけます。



持続可能な飯綱町の未来に向けて

飯綱町長 峯村 勝盛

世界各地で頻発する異常気象や自然災害、ロシアのウクライナ侵攻などに伴う燃料価格や物価の高騰、対立が深まる米中関係など、世界情勢は不透明且つ流動的な状況にあります。国内に目を向ければ、少子高齢化による人口減少が一段と加速し、財政再建、経済成長の実現、脱炭素社会への転換など課題が山積しています。歴史の転換点に直面している今、世界は、日本は、そして飯綱町はどうあるべきなのかが、改めて問われています。

大きく変化を続ける時代だからこそ、社会の多種多様な価値観に目を向け、それを受け入れながら、町民と行政が一体となって学び、行動に移すことで、持続可能な未来を共創していくことが大切です。

今年度は青木理様と畑谷史代様による対談形式での講演会を開催する運びとなりました。お二人の多角的な視点によるお話しは、私たちに新たな気づきを与え、私たちは何をすべきなのかを知る契機として、大いに役立つものと思います。

「みんなが学び、みんなで行動する町に」——。町民の誰もが豊かさと幸福感を実感できる明るい飯綱町の未来の実現に向け、一人ひとりが当事者意識をもって学び、そして飯綱町を盛り上げていきましょう。皆様のご参加を心からお待ちしております。

新しい時代を迎えて

飯綱町議会議長 渡邊 千賀雄

近年の目まぐるしい世の中の遷り変わりのなかで、飯綱町においてもその流れは例外ではないと感じています。

こと政治においては、世界の中の日本、日本の中の地方と我が町も国政に関わる影響を日々受けていることは否めない事実です。

今回の町民講座では、我々住民一人ひとりが今何をすべきか、また国の政治が地方の自治にどのような影響を及ぼしているかなどについて、ノンフィクション作家でジャーナリスト、またコメンテーターとしても活躍されている青木理氏と、信濃毎日新聞社論説委員の畑谷史代氏との対談形式による講演会を企画しました。これからの町づくりに欠かせない住民の皆さんの力と地方の活性化を進める自治体との「共動*」について考えるヒントになれば幸いです。

多くみなさんに参加していただき、自身の町の未来について一考する機会になればと思います。ぜひ、町民講座にお越しく下さい。

*「共動」は飯綱町の造語です。

